









湯布院駐屯地高圧ケーブル改修工事

件名	湯布院駐屯地高圧ケーブル改修工事						
図面	仕様書						
縮尺		作成年月日	令和 7年 月 日			図面番号	1/6
業務隊長	管理科長	営繕班長	企画	管財主任	施設係専門官	電気係	担当者
							
湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊							

仕様書

- 1 件名 湯布院駐屯地高圧ケーブル改修工事
- 2 場所 大分県由布市湯布院町川上941 陸上自衛隊 湯布院駐屯地
- 3 概要 A8-3号柱～体育館ケーブル付近の高圧埋設管路の増設並びに、104号建物屋内ケーブル付近の6.6KVCVT E-ケーブルを6.6KVCVT E-ケーブルに更新を実施する。

- (1) 電気設備工事
- 配管工事 1式
 - 配線工事 1式
 - 電力設備工事 1式
 - 撤去工事 1式
- (2) 土木工事
- アスファルトカー工事 1式
 - 根切り工事 1式
 - 埋戻し工事 1式
 - アスファルト舗装工事 1式
 - 建設発生土処理 1式 (日出生台演習場敷きならし)

4 一般事項

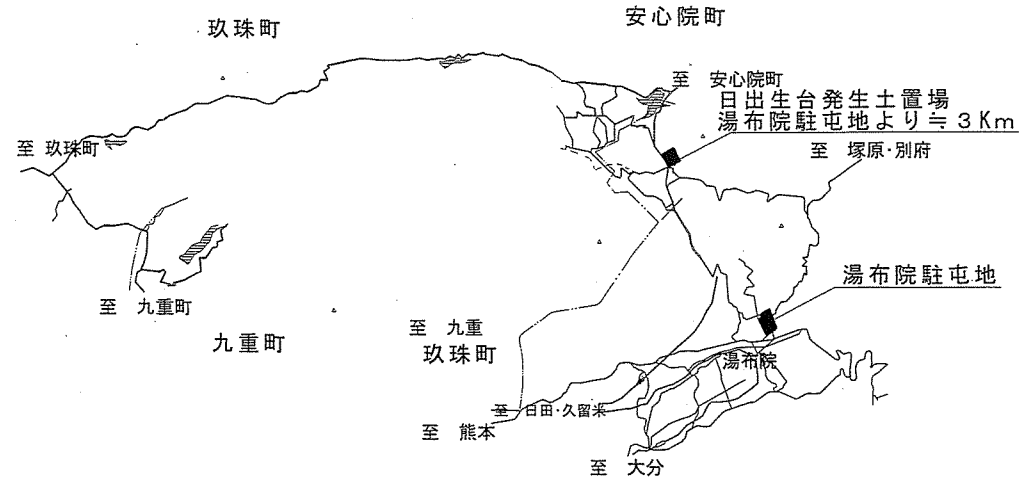
- (1) 本工事は、本仕様書によるほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築（改修）工事標準仕様書（土木工事編）（電気設備工事編）」、並びに関係諸法規によるものとする。
- (2) 受注者は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」及び「建設業法」に基づき、施工体制台帳の作成等について、法令に遵守のうえ実施するものとする。
- (3) 工事に掛かる前に必ず現地にて監督官と打合せをすものとする。
- (4) 本工事の写真は、着工前・竣工後・主要な作業状況及び監督官の指示する箇所を撮影するとともに、工事後隠蔽となる部分は確実な写真管理を実施するものとする。工事完了後、A4判工事写真帳に整理して一部監督官に提出するものとする。
- (5) 本仕様書等に記載なき事項といえども、技術上当然施工すべき事項については、受注者の負担において実施するものとする。
- (6) 工事は他の施設に損傷を与えないよう十分注意して実施すること。万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに現状に復旧するものとする。
- (7) 本仕様書及び工事に際し、疑義を生じた場合は、監督官と協議のうえ実施するものとする。
- (8) 本工事に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け、合格したものを使用する。
- (9) 本工事にあたっては、火災予防、安全管理に十分留意するものとする。
- (10) 本工事で生じた発生材のうち、監督官が指示する鉄屑等については、種別毎に整理したうえ指定場所へ搬入し、所定の調査を添えて官側に引き継ぐものとする。その他の発生材については受注者の責任において全て構外へ搬出、関係法令等に従い適正に処分し、マニフェスト（E票）の写しを提出するものとする。
- (11) 本工事に必要な電力及び給水等は官給しないものとし、電気は発電機、給水は水タンクの搬入を基本とする。ただし、前記要領で使用できない場合は官側と調整し、メーター等を取付け使用量に応じた料金の支払いにより使用できる。
- (12) 作業終了時は、現場の清掃及び片付けを実施するものとする。
- (13) 本仕様書に記載されている寸法等は標準寸法であるため、施工に先立ち現場調査のうえ実施するものとする。

5 特記事項

- (1) 発生材の処置
- ア 発生土については、再使用又は日出生台演習場内敷きならしとする。
- (2) 高圧ケーブルの施工について
- ア 高圧ケーブルヘッド端末処理作業はケーブルヘッド工事技術認定講習修了者である第1種電気工事士の資格保有者が実施する事。
 - イ 高圧ケーブルは耐圧試験を技術基準に従い管理技術者が実施し検査報告書を一部提出する事。
 - ウ 工事に従事する作業員の作業に関わる資格等免状等の写しを一部提出する事。

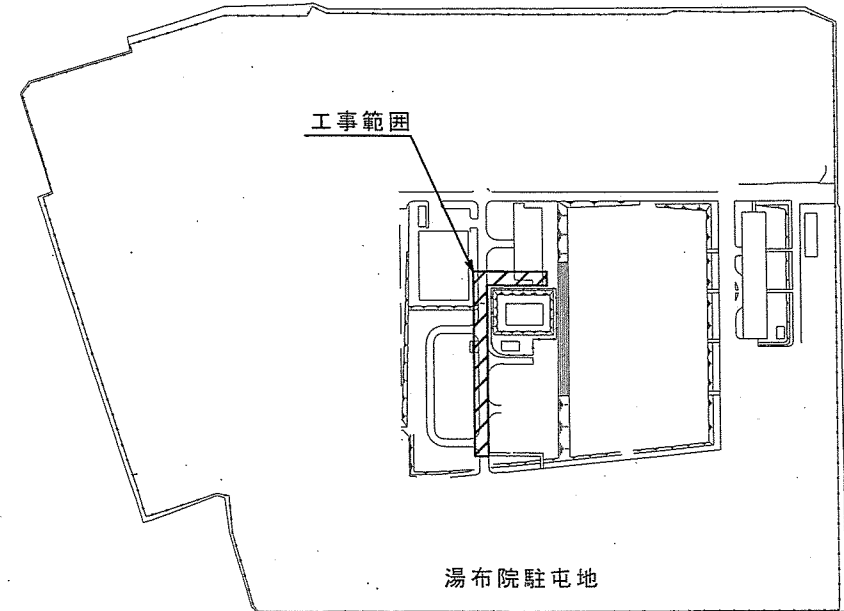
6 工程管理

停電計画を施工1か月前迄に提出し監督官の承認を得る事、尚安全を考慮した上で停電時間を短縮した工程とする事。



工事箇所案内図

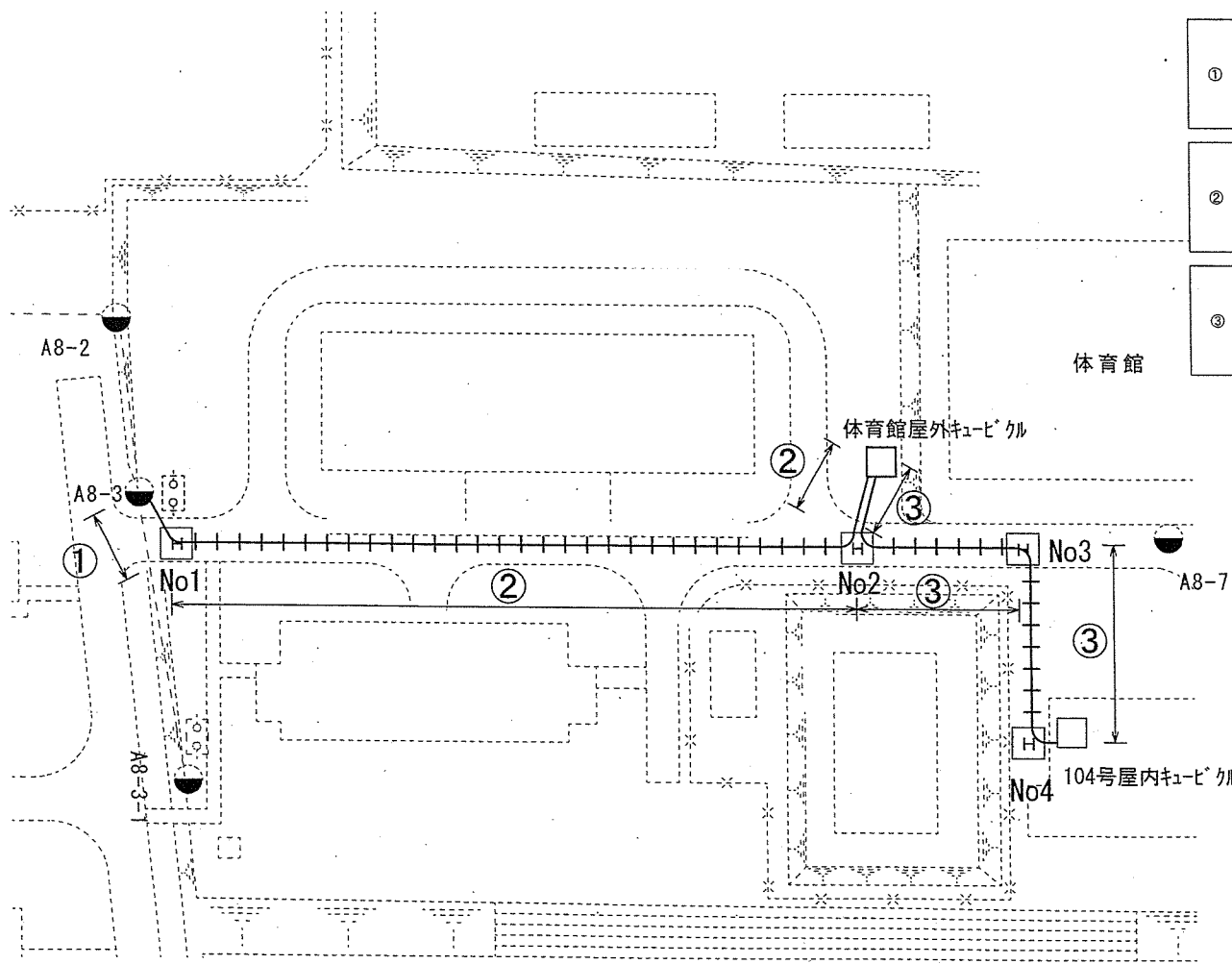
S=1:X



工事箇所配置図

S=1:X

件名	湯布院駐屯地高圧ケーブル改修工事	図面番号	2/6
図名	仕様書・案内図	縮尺	—
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和7年 月 日	



①	配管			ケーブル			
	区分	仕様	数量	区分	仕様	数量	備考
	撤去	G70	12m	撤去	6KV CVT22SQ	20m	
※ 気中開閉器より下側から撤去する。							

②	配管			ケーブル			
	区分	仕様	数量	区分	仕様	数量	備考
	残置	G70	98m	撤去	6KV CVT22SQ	110m	
No1 ハンドホール～体育館キュービクル							

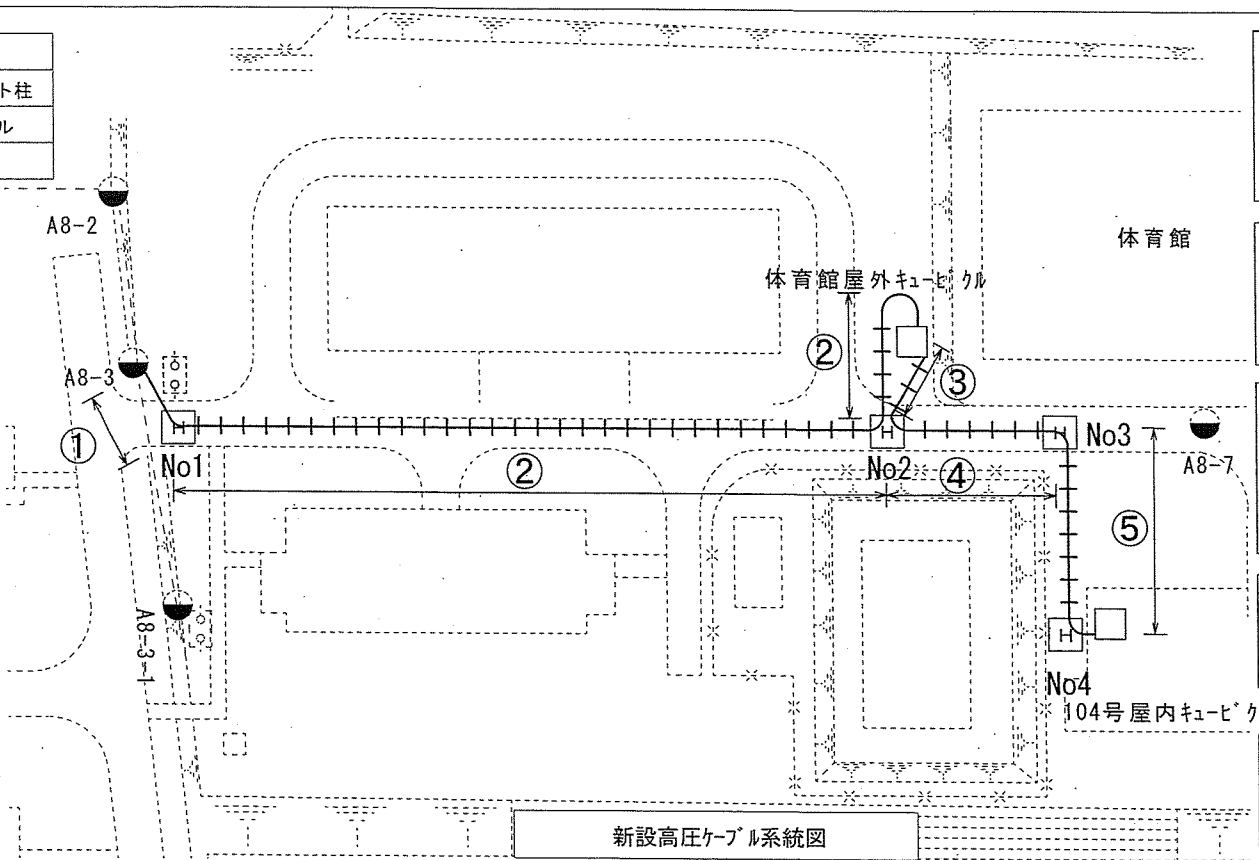
③	配管			ケーブル			
	区分	仕様	数量	区分	仕様	数量	備考
	残置	G70	67m	撤去	6KV CVT22SQ	90m	
体育館キュービクル～104号建物屋内キュービクル							

凡 例	
	コンクリート柱
	ハンドホール
	気中開閉器

撤去高圧ケーブル系統図

件名	湯布院駐屯地高圧ケーブル改修工事	図面番号	3/6
図名	撤去高圧ケーブル系統図	縮尺	—
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和7年	月 日

凡 例	
	コンクリート柱
	ハンドホール
	気中開閉器



区分	配管		ケーブル			備考
	仕様	数量	区分	仕様	数量	
新設	G70	7m	新設	6KV CVT38SQ E-E	20m	
新設	FEP80	8m				
屋外用ケーブルヘッドは耐塩とする。×1か所						
気中開閉器1次側引下電線も更新する。12m程度						

区分	配管		ケーブル			備考
	仕様	数量	区分	仕様	数量	
新設	G70 (立上り)	2.5m	新設	6KV CVT38SQ E-E	120m	
新設	FEP80	110m				
ケーブルヘッドは屋内プルアップ型とする。×1か所						

区分	配管		ケーブル			備考
	仕様	数量	区分	仕様	数量	
既存	G70	10m	新設	6KV CVT38SQ E-E	10m	
新設	FEP80	8m	—	—	—	空配管
新設	G70 (立上り)	2.5m	—	—	—	空配管
ケーブルヘッドは屋内プルアップ型とする。×1か所						

区分	配管		ケーブル			備考
	仕様	数量	区分	仕様	数量	
新設	FEP80	22m	新設	6KV CVT38SQ E-E	30m	
新設	FEP80	22m	—	—	—	空配管

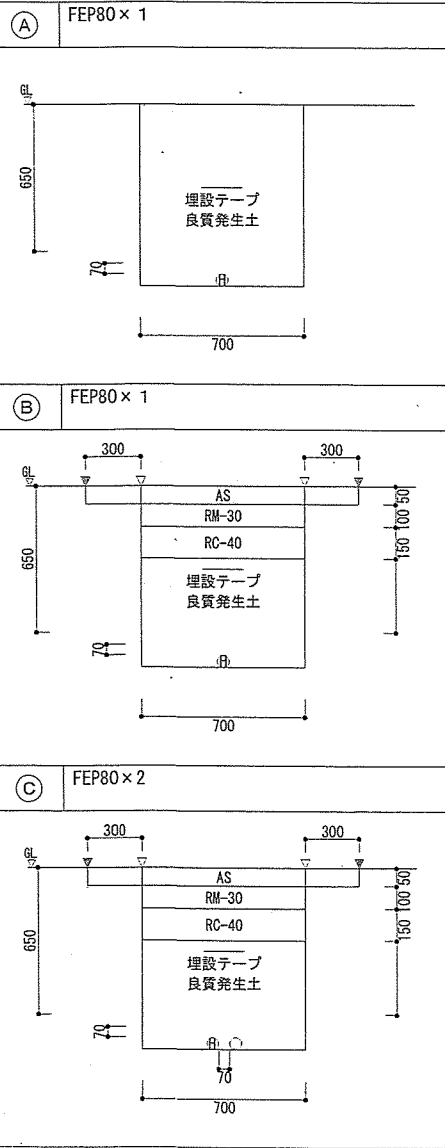
区分	配管		ケーブル			備考
	仕様	数量	区分	仕様	数量	
既存	G70	40m	新設	6KV CVT38SQ E-E	50m	
ケーブルヘッドは屋内プルアップ型とする。×1か所						

品名	規格	単位	数量	備考
高圧ケーブル	6.6KV CVT E-E38SQ	m	230	数量は充分余長を見込んだ長さとし、ケーブル最小曲げ半径をハンドホール内等では十分に考慮して施工する事。
端末処理材	38SQ 屋外耐塩	箇所	1	A8-3号柱
端末処理材	38SQ 屋内	箇所	3	体育館ケーブル×2 104号ケーブル×1
高圧引下電線	6KV PDC38SQ	m	12	A8-3号柱
厚鋼電線管	G70溶融亜鉛メッキ	m	12	A8-3号柱 7m 体育館QB 2.5m×2
波付合成樹脂管	FEP80	m	170	A8-3号柱～体育館QB 118m 体育館QB～N02ハンドホール～N03ハンドホール 30m N02ハンドホール～N03ハンドホール 22m
異種管接続材	G70-FEP80	箇所	3	体育館QB×2・A8-3号柱×1
ハンドホール接続材 ハンドホール貫通	FEP80 止水材共 φ110×t100mm	箇所	9	N01ハンドホール×2 N02ハンドホール×5 N03ハンドホール×2
プレート	500*500*300 WP-SUS	個	1	体育館QB
プレート	400*400*300 WP-SUS	個	1	体育館QB

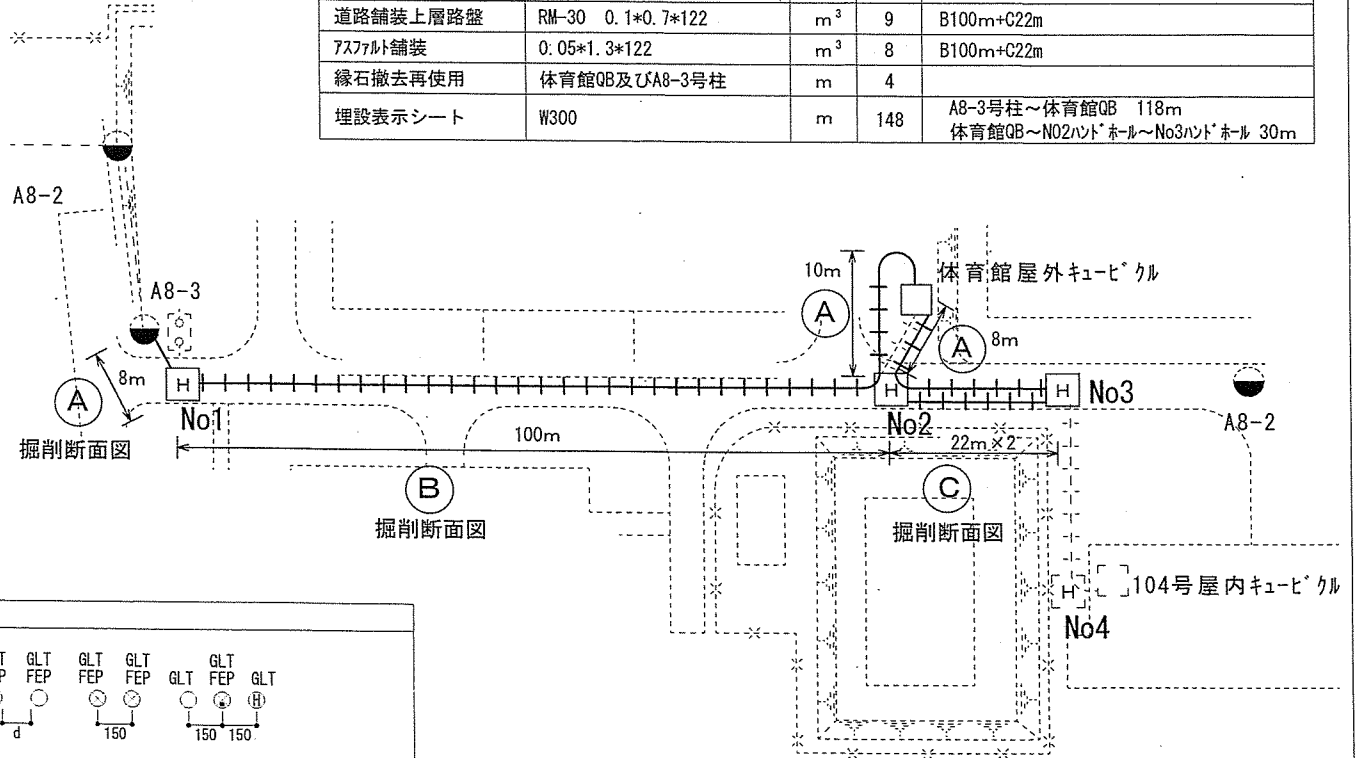
※A8-3号柱～体育館ケーブル～No3ハンドホール間は新規埋設配管内を使用する。

件名	湯布院駐屯地高圧ケーブル改修工事	図面番号	4/6
図名	新設高圧ケーブル系統図	縮尺	—
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和7年 月 日	

掘削断面図



掘削数量表				
項目	規格	単位	数量	備考
床掘	0.65*0.7*148	m ³	67	A26m+B100m+C23m
舗装版破砕積込	0.05*1.3*122	m ³	8	B100m+C22m
道路舗装下層路盤	RC40 0.15*0.7*122	m ³	13	B100m+C22m
道路舗装上層路盤	RM-30 0.1*0.7*122	m ³	9	B100m+C22m
アスファルト舗装	0.05*1.3*122	m ³	8	B100m+C22m
縁石撤去再使用	体育館QB及びA8-3号柱	m	4	
埋設表示シート	W300	m	148	A8-3号柱~体育館QB 118m 体育館QB~No2ハントホール~No3ハントホール 30m



注記

・各配管の離隔

FEP FEP FEP GLT GLT GLT GLT GLT GLT FEP GLT

○ 300 300 d d 150 150 150

○ 低圧管路
⊕ 高圧管路
● 弱電管路

・掘削深さ1m以上は勾配掘削とし、勾配率は1:0.5とする。
 ・管上300ミリまでは全てタンバ転圧とする。
 ・道路下の転圧は200ミリ以下(一般は300ミリ以下)とする。
 ・作業足場巾(両側)を150程度確保する。
 ・掘削部の復旧は現状復旧とする。
 ・現状の状況により掘削断面を変更しても良いが、上記条件に基づき施工すること。
 ・管相互の間隔(d)は下表による。

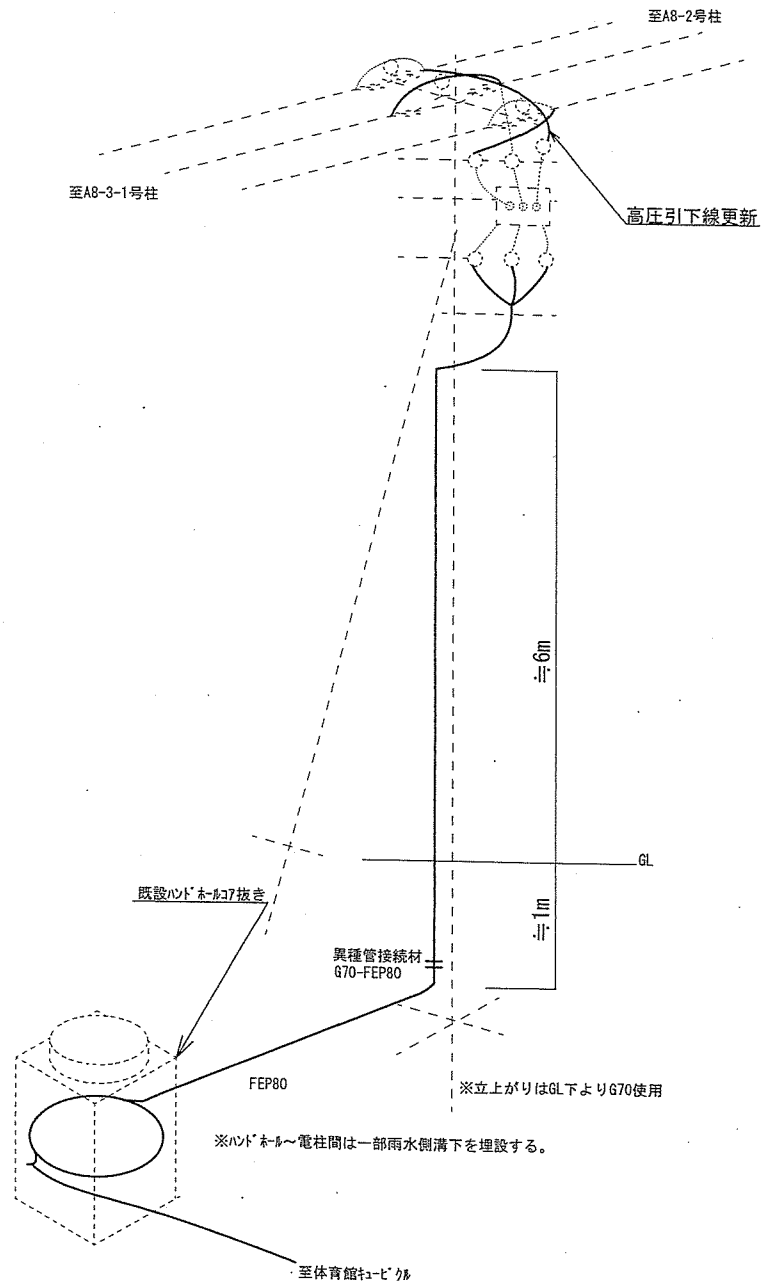
呼び径	間隔(左右、上下)mm
50以下	50
51~150	70
150以上	100

・埋設シートは磁気探査対応可能品とする。
 ・埋設シートの敷設方法は下記の通りとする。
 1) 配管が並列2条までの場合は1枚とする。
 2) 配管が並列3条以上の場合は、配管列の両端の直上に敷設する。
 また、両端の配管の芯々間が800mmを超える場合は、真ん中にもう1枚追加する。
 3) 2枚のシートが全段を見たときに最も端となる配管の芯々の直上に埋設シートの芯が当たるように敷設する。

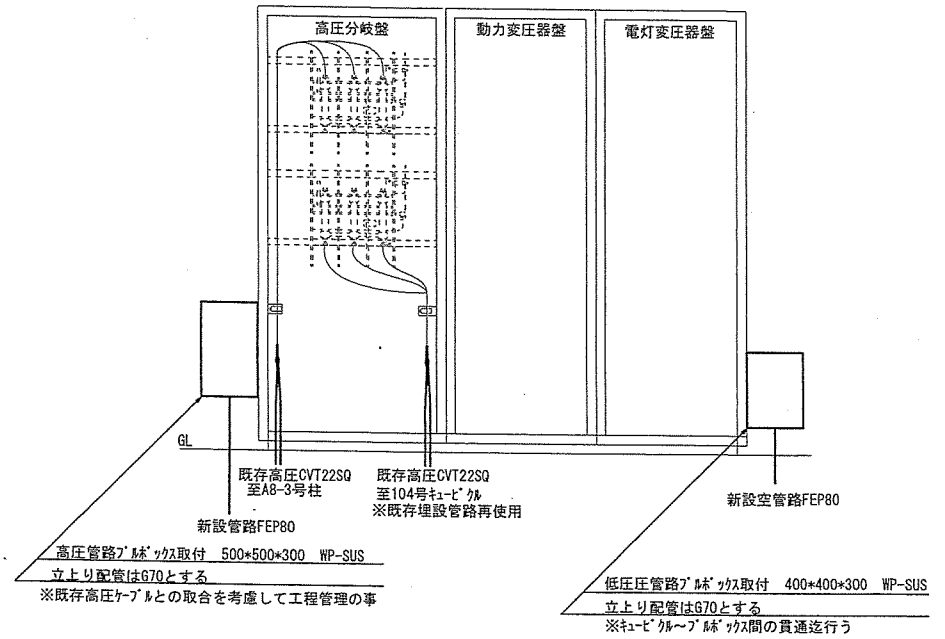
※ハントホール~A8-3電柱間は一部雨水側溝下を埋設する。
 ※No2ハントホール~体育館屋外キュービクル間は一部雨水側溝下を埋設するほか縁石撤去再使用

新設埋設管路系統図

件名	湯布院駐屯地高圧ケーブル改修工事	図面番号	5/6
図名	新設埋設管路系統図	縮尺	—
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和7年 月 日	



A8-3号柱装柱図



体育馆キュービクル詳細図

件名	湯布院駐屯地高压ケーブル改修工事	図面番号	6/6
図名	A-8-3号柱装柱図・体育馆キュービクル詳細図	縮尺	—
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和7年 月 日	